

H27年度 第4回
愛マップ・プロジェクト

平成27年8月8日（土）10：00～12：00

多目的室

防災の専門家に聞いた 寝るときに枕元に置いておいた方が よいもの

防災の勉強会で聞いた「準備しておいた方がよいもの6点」

- 靴（歩きやすいスニーカーがおすすめ）
- 靴下（靴に入れておく）
- ヘッドライト
- 防犯ブザー（電池が切れるまで鳴り続けるから）
またはホイッスル
- カッパ
- ラジオ

区長さんにお聞きしたいことを 整理しよう

次回の愛マップで常普請の区長さんにインタビューします

次のようなことについてお聞きします。それぞれどのような質問をしたらよいかを考えてみよう

- 地域で行われている防災対策について
- 消火栓について
- ブロック塀について
- 地域の一員として、私たちにできることはどんなことがあるか

1.地域で行われている防災対策について みんなの意見

地域のことを教えてもらおう

- 避難訓練を行っているか？
- 住居者名簿があるか？
- 備蓄倉庫の管理はどのようにしているか？
- 備蓄品の点検は行っているか？



2.消火栓について みんなの意見

消火栓 (B-16)



- どうやって使うのか？
- 誰が使えるのか？
- 点検をしているか？
- 最近、いつごろ使ったか？
- 誰が管理しているのか？
- 設置して、何年くらい経っているのか？

3.ブロック塀について みんなの意見

ブロック塀 (A-5)



- 工事などをしないのか？
- ブロック以外のものに変えられないか？
- ひび割れや欠けているところはあるか？
- ブロック塀のある道は広い道なのか？
- フェンスに替えることをおすすめできるか？
- 高さの規制があることを知っているか？
- ブロック塀に危険なところがある家を把握しているか？
- 何か対策を考えているか？

4.地域の一人として私たちにできること みんなの意見①

私たちができることはどんなことがあるだろうか

- 災害時の避難経路を知っていたら、周りの人を誘導する
- 日ごろから、お年寄りの人のお手伝いをたくさんする
- 防災グッズや消火栓、AEDなどがある場所を知り、実際に使えるようにしておく
- 指示待ち人間にならない



中学生は「助けられる人」ではなく「助ける人」になれるよ！

4.地域の一員として私たちにできること みんなの意見②

私たちができることはどんなことがあるだろうか

- お年寄りに積極的に話しかける
- 避難所などで、食料などを自ら配る
- 自分から行動する
- 周りの人に、協力してくれるように呼びかける



中学生は「助けられる人」ではなく「助ける人」になれるよ！

4.地域の一員として私たちにできること みんなの意見③

私たちができることはどんなことがあるだろうか

- 日ごろから、地域の人とコミュニケーションをとる
- 災害時には、大人たちの手伝いをする
- 災害が起こったとき、小さい子の世話をする
- 食料、毛布などを配るのを手伝う



中学生は「助けられる人」ではなく「助ける人」になれるよ！

東日本大震災のとき 中学生が活躍したこと

2011年3月11日に起きた東日本大震災では、たくさんの中学生が活躍したよ

- 避難所で、新聞の掲示をした

避難所では全員の分の新聞は届かないので、みんなが見やすいように掲示板に、表面と裏面がきちんと見えるように掲示した

- トイレ用の水をプールから汲んで、お年寄りの家に運搬した

自宅が使える人は自宅にとどまったが、断水しているためトイレの水がなく困っていた

中学生が避難所の学校のプールから水を汲んで、お年寄りの自宅へ運んでトイレが使えるようにした

みんなにも、きっとできることがあるよ
自分にできることを探してみよう！工夫してみよう！

次回のお知らせ

第5回 愛マップ・プロジェクト



- 8/22 (土) 9~12時
- 多目的室、まち歩き (常普請会館)